

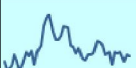


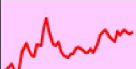
注目ポイント

- ✓先週は日米中銀の政策決定会合を大きな波乱もなく通過した。金融市場では中東情勢の緊迫化に注目が集まり、有事のドル買いなどから円安ドル高が進んだ。日本の株式市場では円安ドル高が好感されて、18日に日経平均が4か月ぶりの高値を付ける場面もあった。ただ週後半の日本株は、中東情勢への警戒感もあり、利益確定の売りが優勢となった。
- ✓今週も中東情勢が市場のテーマとなろう。米国が21日にイランの核施設への攻撃に踏み切り、中東情勢が一段と緊迫している。日経平均は中東情勢の緊迫化を受けて不安定な値動きになると予想する。また外為市場では、引き続き有事のドル買いが入りやすいと見込まれる。ただ、27日に発表される東京都部CPIでインフレの強さが示されれば、日銀の追加利上げが意識されて、円買い圧力が高まる可能性もある。（北田英治）

2025年6月16日 ～ 2025年6月20日

市場・指標			6月16日 ～ 6月20日		6月20日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	 日本	日経平均 (円)	38,885	38,056	38,403	+569	+1.5%	
	 米国	NYダウ (ドル)	42,708	42,090	42,207	+9	+0.0%	
	 ドイツ	DAX (ポイント)	23,712	23,052	23,351	-166	-0.7%	

市場・指標			6月16日 ～ 6月20日		6月20日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	 日本	10年 (%)	1.485	1.390	1.390	-0.020	
	 米国	10年 (%)	4.46	4.34	4.38	-0.02	
	 ドイツ	10年 (%)	2.59	2.49	2.52	-0.02	

市場・指標			6月16日 ～ 6月20日		6月20日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	 米ドル (円)		146.22	143.65	146.09	+2.02	
	 ユーロ (円)		168.40	165.91	168.34	+1.97	
	 豪ドル (円)		94.84	93.28	94.22	+0.72	

市場・指標			6月16日 ～ 6月20日		6月20日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	 日本	東証リート (ポイント)	1,799	1,775	1,786	+4	+0.2%	
	 米国	NY原油 (ドル)	77.58	69.38	74.93	+2.0	+2.7%	
		NY金 (ドル)	3,476	3,356	3,386	-67	-1.9%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年6月23日 ~ 2025年6月27日

 株式

不安定な値動きを予想

 日経平均
【予想レンジ】 37,900 円 ~ 38,900 円

- 先週の日経平均は2週連続で上昇。外為市場の円安・ドル高基調を手掛かりにした買いが優勢となった。17日の植田日銀総裁の会合後の記者会見を受けて、日銀が追加利上げに消極的との見方が広がったことも株式相場の支援材料となり、18日の日経平均は4か月ぶりの高値を付けた。ただ週後半は、中東情勢への警戒感もあり、利益確定の売りが優勢の展開となった。
- 米国が21日にイランの核施設への攻撃に踏み切った。今週の日経平均は、中東情勢の一段の緊迫化を受けて不安定な値動きになると予想する。また週末27日に発表される東京都部CPIでインフレの強さが示されれば、日銀の追加利上げが意識されて、株式相場の重荷になる可能性もある。


 金利
(国債)

金利は弱含みもみ合いか

 10年国債利回り
【予想レンジ】 1.340 % ~ 1.420 %

- 先週の国内金利は一進一退で推移。日銀が17日に公表した7~9月期の国債買い入れオペの運営方針で、超長期ゾーンの購入額を維持する一方で中長期ゾーンを減らした。中長期債の需給が緩むとして長期金利に上昇圧力が高まった。ただ週後半には、中東の地政学リスクが高まり、相対的に安全な資産とされる債券の買いが優勢となった。
- 今週の国内金利は、弱含みもみ合いか。中東情勢の一段の緊迫化を受けて安全資産の債券が買われやすい地合いが続くと予想される。ただ27日に発表される東京都部CPIでインフレの強さが示されれば、日銀の追加利上げが意識されて、債券の売り圧力が高まる可能性もある。24日に行われる20年物国債の入札も注目材料。


 為替
(米ドル)

ドル強含みでのみ合いか

 米ドル/円
【予想レンジ】 145.00 円 ~ 149.00 円

- 先週のドル円は、円安ドル高が進展。17日のNY市場では、中東情勢の緊迫化を背景に流動性の高いドルを買う動き（有事のドル買い）が優勢となった。またFRBが18日まで開いたFOMCで政策金利を据え置き、会合後のパウエル議長の記者会見を受けて、FRBが利下げを急がないとの見方が広がったことも、ドル買い要因となった。
- 今週のドル円は、ドル強含みでのみ合いか。中東情勢の緊迫化に伴う有事のドル買いが、引き続きドルを支えよう。ただ、27日に発表される東京都部CPIでインフレの強さが示されれば、日銀の追加利上げが意識されて、円買い圧力が高まる可能性もある。

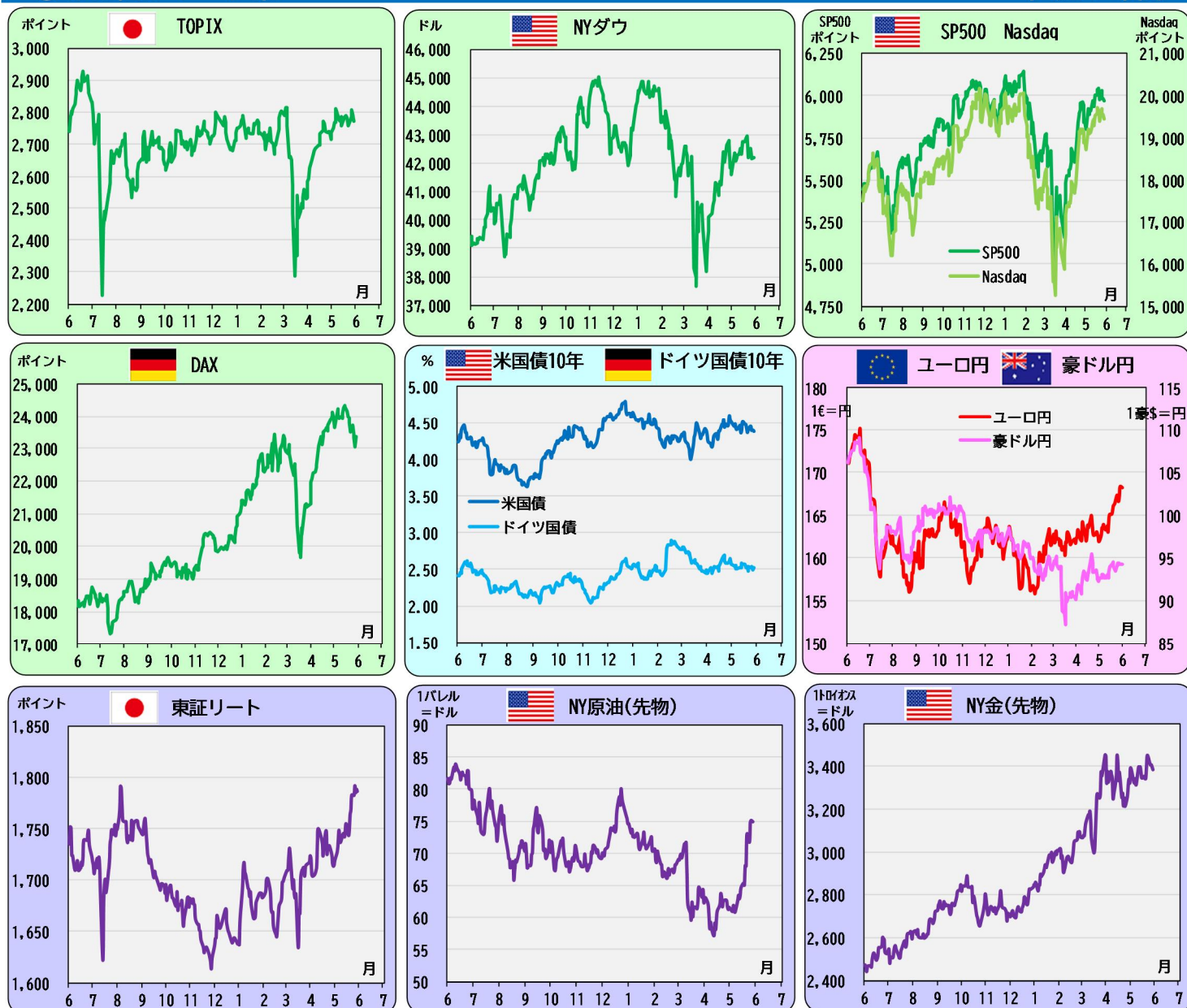


○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
6/23(月)		米国: 中古住宅販売件数(5月)
6/24(火)	国債入札(20年)	米国: 経常収支(1~3月) 米国: 国債入札(2年) 米国: S&Pケースシラー住宅価格指数(4月)
6/25(水)	日銀金融政策決定会合主な意見(6月開催分)公表	米国: 新築住宅販売件数(5月) 米国: 国債入札(5年)
6/26(木)	国債入札(2年)	米国: GDP(1~3月)確定値 米国: 耐久財受注(5月) 米国: 国債入札(7年)
6/27(金)	完全失業率(5月) 東京都部CPI(6月)	米国: 個人所得・個人消費支出(5月) 米国: ミシガン大学消費者態度指数(6月)確報値

③その他チャート集

直近1年間



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PBR	株価純資産倍率
CTFC	米商品先物取引委員会	FTA	自由貿易協定	PCE	個人消費支出
CPI	消費者物価指数	GDP	国内総生産	PER	株価収益率
ECB	欧州中央銀行	IMF	国際通貨基金	PMI	購買担当者景気指数
ETF	上場投資信託	IEA	国際エネルギー機関	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
EU	欧州連合	ISM	米供給管理協会	SQ	特別清算指数
FDI	海外直接投資	OECD	経済協力開発機構	TPP	環太平洋経済連携協定
FF	フェデラルファンド	OPEC	石油輸出国機構	WSTS	世界半導体市場統計
FOMC	米公開市場委員会	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客さまご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。